

珍しいピアノ協奏曲 ロシア(ソ連) Minor Symphonies Russia

作曲家	生没年	ピアノ協奏曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ★★★★:聞く価値はある ★★★:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Anton Rubinstein	ルービンシュタイン	1829-1894	5	ピアノ協奏曲第2番(1864)	※	特に聞きどころなし。	LPです。H-5064V	Pioneer
Mily Balakirev	バラキエフ	1835-1919	2	ピアノ協奏曲第2番(1862-1910)	☆☆☆☆	第1, 3楽章にはロシア風味があります。第3楽章の補完は弟子のリュプーノフが行いました。	LPです。H-6-14V	Pioneer
Sergei Mikhailovich Lyapunov	リュプーノフ	1859-1924	2	ピアノ協奏曲第1番(1887)	☆☆☆☆	5つの部分からなる単一楽章で22分。全編、ロシアの曲です。	8.570783	NAXOS
				ピアノ協奏曲第2番(1917)	☆☆☆☆	5つの部分からなる単一楽章で20分。全編、ロシアの曲です。		
Anton stepanovich Arensky	アレンスキー	1861-1906	1	ピアノ協奏曲(1883)	☆☆☆☆	冒頭は映画音楽風な出だしです。第3楽章はかなりロシア風。	CDA66624	Hyperion
Sergei Rachmaninoff	ラフマニノフ	1873-1943	4	ピアノ協奏曲第5番(2007)	×	ラフマニノフの交響曲第2番を、ロシアの作曲家Alexander Warenberg(1952-)が3楽章のピアノ協奏曲として作り直したものの。交響曲の第1楽章→第1楽章 2, 3→2 4 → 3 となっています。交響曲第2番を聞いたことが無い人には聴いてみるのもよいかもしれません。しかし、交響曲第2番を知っている人にとっては噴飯ものですので、聴かない方が良いでしょう。	8900	Brilliant
Nikolai Medtner	メトネル	1880-1951	3	ピアノ協奏曲第2番(1927)	☆☆☆☆	聴き映えのする部分が多くあります。	CDA66580	Hyperion
				ピアノ協奏曲第3番(1943)	☆☆☆☆	聴き映えのする部分が多くあります。		
				ピアノ協奏曲第1番(1919)	☆☆☆☆	1934-1937に日本に滞在し、伊福部昭などに影響を与えた人物です。単一楽章で18分、ロシア風味はありませんが聴きごたえがあります。		
				ピアノ協奏曲第2番(1923)	☆☆☆☆	単一楽章で18分。はでなファンファーレ風の旋律が頻発し通俗的な感じがします。		

Alexander Tchrepnin	チェレプニン	1899-1977	6	ピアノ協奏曲第3番 (1932)	☆☆☆☆	2つの楽章で18分。聞き映えがします	BIS-CD-1717/18 チェレプニン交響曲ピアノ 協奏曲全周	BIS
				ピアノ協奏曲第4番 (1947)	☆☆☆☆	3楽章で29分。1934-1937に中国、日本を回った際に聞いた中国の民話がもとになっています。東洋(中国)風の旋律がたくさん出てきます。第3楽章はかなり軽い感じです。		
				ピアノ協奏曲第5番 (1963)	×	3つの楽章で24分。大げさな感じです。		
				ピアノ協奏曲第6番 (1965)	×	3つの楽章で25分。大げさです。		
Tihon Khrennikov	フレンニコフ	1913-2007	4	ピアノ協奏曲第1番 (1933)	☆☆☆☆	長くソ連作曲家同盟の書記を務めた人物。4楽章で20分。第3楽章まではロシアっぽさはなく、同時代のヨーロッパのモダニズムと似た作風です。同じ時代のロシアの作曲家のロシア風味いっぱいの作品を聞いた後に聞くと新鮮に感じます。	MEL CD 10 02086 フレンニコフ交響曲・協奏曲全集	MELODIYA
				ピアノ協奏曲第2番 (1972)	※※	3楽章で 15分。第3楽章はかなりロシア風です。		
				ピアノ協奏曲第3番 (1984)	※※	3楽章で20分。どの楽章もロシア風です。		
				ピアノ協奏曲第4番 (1991)	※※	2楽章で10分のみ。長い曲を書く気力が無くなったのでしょうか。オーケストラは弦と打楽器のみ。鍵盤打楽器が多用されます。		